

## 平成 27 年度第 3 回知立市総合教育会議議事録

審 議 日 時	平成 27 年 10 月 8 日（木） 13：15～14：36			
審 議 場 所	第 9 会議室			
出 席 者	市 長	教育長	蔭山委員	竹内委員
	宇納委員	太田委員		
事 務 局	企画部長 教育部長 企画政策課長 教育庶務課長 生涯学習スポーツ課長 企画政策担当 教育庶務担当			
議 題 1	総合教育会議について			
議 題 2	その他			
司会	<p>定刻となりましたので、只今より平成 27 年度第 3 回総合教育会議を開催します。はじめに、前回会議の議事録ですが、教育委員の皆様にご確認いただいたあと、知立市の HP に公開させていただいております。さて、前回会議では教育大綱の素案を提示させていただき、それをたたき台として、いくつかの修正案が示され、教育委員会でも検討していただき、今回皆様のお手元に、現段階での修正案を示させていただきました。本日は皆様に、この修正案について再度ご審議いただき、教育大綱の最終案を練っていただきたいと思います。</p> <p>それでは、これより、議長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p>			
市長	<p>本日はご多用の中、ご出席いただきましてありがとうございます。現在各町内では運動会、敬老会等季節ごとに行事を行っていただいております、地域の絆はそのたびに強くなっていくものだと思います。</p> <p>本題に入らせていただきますが、ご提示のさせていただいております通り、修正案についてご意見等を伺いたいと思います。</p>			
竹内委員	自分としては、これでよろしいかと思います。			
宇納委員	<p>前回は発言させていただいた部分ですが、全体として、知立市という枠組みへのこだわりが見受けられます。例えば、もっと大きな視点で知立市を見るという考えも必要のようにも思いますし、他市との情報共有のようなものもあるように感じました。また、3 つ目の柱の解説文については、文化・芸術活動“の”促進するための、とあるものを、文化芸術活動“を”促進するための、としたほうがよいのではないのでしょうか。</p>			
太田委員	私は、おおむねこの修正案の内容でよいと思います。			
蔭山委員	<p>平和で民主的な社会の担い手、平和な社会を築くという文言を具体化する部分が読み取れないように思います。3 つ目の柱の解説文において、平和な社会を構築するた</p>			

	<p>めの方策のようなものと、文化芸術を継承することを関連させていますが、文化芸術以外との関連も含めて記述し、より分かりやすく表現されると思います。例えば、人権教育なども含んでいくとよいと思います。細かな点ですが、2つ目の柱の解説文にある、ライフステージでの切れ目“の”無い、と、ボランティアなど“、”をそれぞれ追加してはいかがでしょうか。</p>
教育長	<p>蔭山委員のご指摘も理解できるところです。</p>
市長	<p>私の思いとしましては、教育大綱を3つの柱で掲げたいというものがあります。その中で、平和、というものは教育のすべてに関連するものだと思いますが、文化芸術の大切さについて、考えていきますと、豊かな心をつくり、平和な社会を作ることにつながっていきます。また、人権という観点については、いのちを尊ぶこと、個性の尊重、それを実現することで自立・協働・創造が息づく社会の実現につながるという考え方に含まれていると思っております。</p>
蔭山委員	<p>市長の思いが、豊かな心を育めば、平和な社会が実現できるという理想はよくわかりますが、やや、理想主義的といいますか、情動的な部分に重点が置かれているように感じます。ただ、大綱として作るのであれば、甘さが感じられる印象です。</p>
市長	<p>ご指摘の点は、検討いたします。</p> <p>また、交流活動についてですが、他市以外にも国際交流という要素もあると思います。これも考えを深める必要があるかなと思います。</p>
宇納委員	<p>交流についてですが、高齢者や外国人との交流もあると思いますが、知立で夢を掲げることができる社会が実現できるような、一人ひとり違う、その夢を育んでいけたらいいのではと思いました。</p>
市長	<p>交流活動、夢を持てるという視点、人権について、再度検討し、修正案をもう一度提示していきたいと思えますし、良い表現があればご教授願えないかと思っております。</p> <p>また、平和と民主的な社会そのもの、と同じくらい、平和で民主的な社会の担い手が重要であり、学校教育、情操教育、それらも重要なのではないかと思います。</p>
蔭山委員	<p>市長は「人」の支援に重点を置いているようですから、あえて表現としては強調しているのかなという理解をしておりますが、3つ目の柱の解説文に、市民による文化芸術…を充実するとともに、活動を支える人材や団体を支援、という部分が2重表現であるのかなとも思います。</p>
司会	<p>議題2のその他に関しまして、何かございましたらご発言ください。</p>

宇納委員	日本遺産について、市としての取り組みや、市民を含めた取り組みについて若い世代を活用するような形で、まちづくりに役立てていただきたいです。
教育部長	日本遺産への登録には、基本構想の策定が必要になってまいります。これは教育部単独で進めていくだけでは難しいのではないかと思います。市長部局とともに進めていければと思います。
市長	日本遺産については、現在勉強中な段階ですが、広域でやるのかどうか、若い世代をどのように取り入れていくのか含めて、検討しているところです。
宇納委員	行政や市民の若い世代の、アイデアをたくさん持っている人たちの力を集めて、知立市の良さを集積していくということは、重要なことだと思います。名所旧跡などのスポットを、ストーリーで結ぶことで線にする、そうすることで、オリンピックなどのような国民的行事にやってくる外国人を呼び込む、その流れを作っていくべきではないでしょうか。
教育部長	登録の前提として、文化財があるかなどの要素は満たしていますが、策定後どのように展開していくかのような大きな方向性、あるいは施設名などの具体的な検討など様々な課題もありまして、文化財保護の観点から教育部だけで進める話ではなく、企画部とも併せて話を進めていく必要はあると思います。
蔭山委員	教育大綱の周知方法についてお聞きしたいのですが。
事務局	教育大綱（案）はこのあと、三役、部長級による庁議にてご審議していただきまして、パブリックコメントを実施いたします。その後、再度庁議に諮り、最終決定まで進めていきます。決定後は、広報及びホームページにて公表します。
蔭山委員	市民に周知する方法として、広報やホームページでは不十分に感じますが、何か周知できるイベントのようなものをやるということはないのでしょうか。
宇納委員	日本遺産の話について言えば、文化庁職員を呼び、教育委員会が中心となって討論会や、シンポジウムなどを実施してみたいかと思いますが。
蔭山委員	文化庁職員を呼んで、発信していく、アピールしていくという点はその通りだと思います。積極的な活動をしないと、マスコミが注目はしないと思います。
教育長	教育大綱を市民にPRする方法と、日本遺産への取り組みについて市民へ理解を求めていく方法とを連携させていくべきかどうか、例えば、教育大綱の発表ををあまり堅苦しく扱うことが適当かどうかなど、検討や工夫の余地はあると思います。

市長	<p>どのような、方法が考えられるかはさまざま意見がでると思いますので、検討してまいります。</p> <p>それでは、他に意見がございませんでしたら、これで閉会としたいと思います。事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>次回の、総合教育会議は、11月5日（木）午前10時から、場所は本日と同じく知立市役所 第9会議室といたします。よろしくお願いします。</p>
市長	<p>本日はありがとうございました。</p>